

YAMAHA
ELECTRONIC PIANO

*CP***7**

● エレクトロニックピアノ

取扱説明書

ごあいさつ

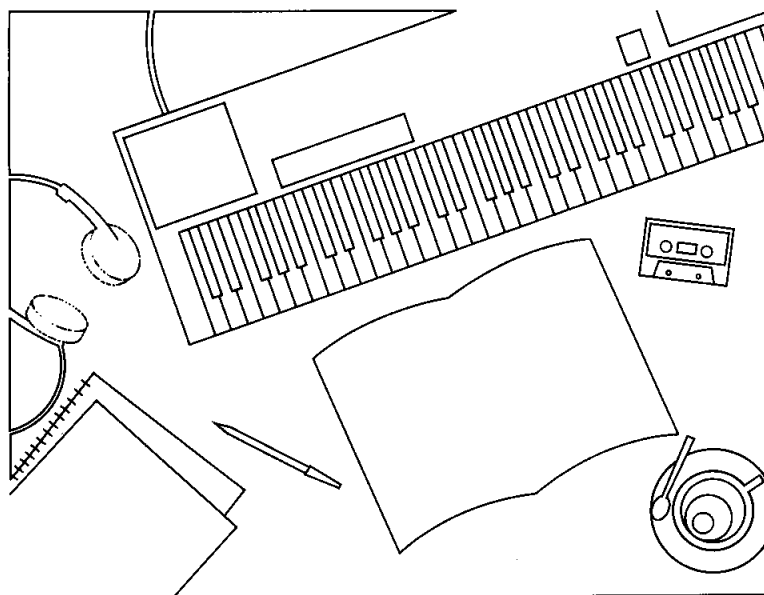
このたびはヤマハ、エレクトロニックピアノCP7をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

CP7は軽量、コンパクトなボディながら、61鍵で5オクターブをカバーしているうえ、ピアノ1、ピアノ2、ハーブシコード1、ハーブシコード2の4種の音色セレクターを備えています。

この音色セレクターは単独でも、組み合わせてでも使えますので種々なサウンドバリエーションをお楽しみいただけます。

CP7はまた、2つのスピーカーを内蔵していますので、これまでにない豊かなサウンドが得られます。加えてステレオコーラス効果が生み出す美しい音の響きも、CP7の大きな魅力のひとつです。

ぜひ取扱説明書をお読みいただき、CP7を末永くお楽しみくださいますようお願いいたします。



■目次	ページ
ご使用の前に／つぎのことにご注意ください……………	2
各部の名称と機能 接続のしかた……………	3
操作のしかた 基本コントロール……………	5
参考仕様……………	6
ブロックダイアグラム……………	6
サービスについて……………	7

ご使用前に／つぎのことにご注意ください



設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外〈例えば200V〉の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



接続について

3ページの「接続のしかた」をよく読み、正しく接続をしてください。

また、スピーカー破損防止のため機器接続の際は、それぞれの電源スイッチをOFFにしてからおこなってください。



外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意くださいませすようお願いいたします。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。



他の電気機器への影響について

CP7はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなど他の電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離してご使用ください。

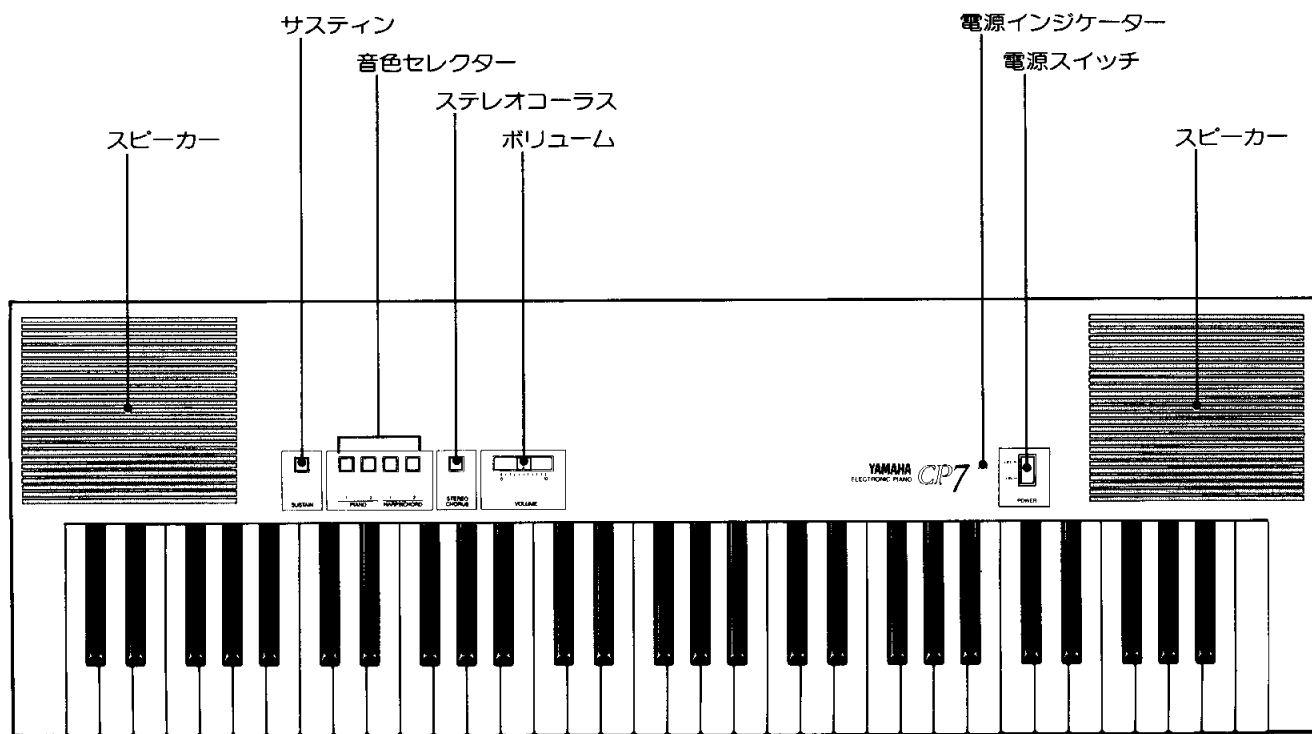
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう

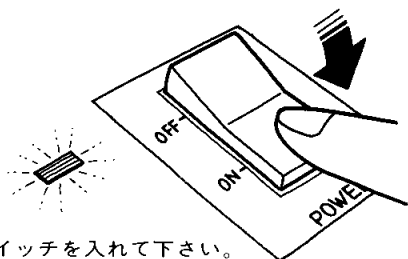
CP7はスピーカーを内蔵していますので、電源コードをコンセントに差し込むだけで、ただちに演奏を始めることができます。CP7の動作を確かめるため、次の手順で操作をしてください。

■各部の名称



1. 電源コードを接続してください。
電源コードをコンセントに差し込みます。

2. 電源スイッチを入れてください。
コントロールパネル右にある電源スイッチをONにします。電源インジケータが点灯して、CP7は動作状態になります。

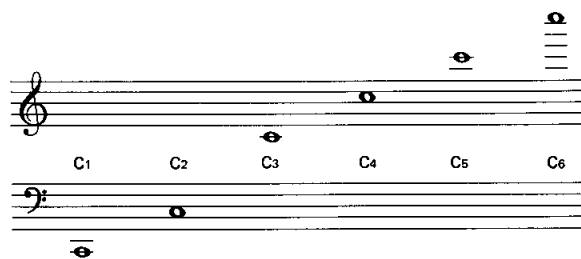


電源スイッチを入れて下さい。
電源インジケータが点灯すれば
演奏の準備はOK!

- 音色セレクターのPIANO 1 を押します。
- VOLUME(ボリューム) ツマミを右に動かし、鍵盤を押しますと、内蔵のスピーカーから音が出ます。

■鍵盤と音域

CP7の鍵盤はC₁~C₆の5オクターブ、61鍵です。



3. 外部スピーカーシステム等の接続

内蔵のスピーカーを使用しないで、ヘッドホンを使用したり、外部スピーカーを使用して演奏するときは、リアパネルの接続端子に各機器を接続します。

①OUTPUT I, II (出力端子)

外部のパワーアンプおよびアンプ内蔵スピーカーを使用するとき、またはミキサーに出力するときに使用します。この端子に直接スピーカーを接続することはできません。従って、外部スピーカーシステムを使用するときは、パワーアンプ内蔵のスピーカーシステムをご使用になるかパワーアンプとスピーカーを同時に使用することが必要です。

- 外部システムはステレオシステムでもご使用になれます。ステレオアンプのAUX(補助)端子に接続してください。
- CP7のコラス効果は一台のアンプ/スピーカーシステムでも得られますが、より豊かなステレオコラス効果を得るためにOUTPUT IとIIの2つの端子に、それぞれアンプ/スピーカーシステムをご使用になるか、ステレオシステム、あるいはステレオ出力を持つミキサーなどをご使用になることをおすすめします。

②SUSTAIN FOOT SW. (ペダル接続端子)

付属のフットペダルFC-5をこの端子に接続します。フットペダルを接続しますと、サスティン効果のON/OFFをリモートコントロールすることができます。

- フットペダルをご使用になるときは、パネル上のサスティンスイッチは必ずONにしておいてください。

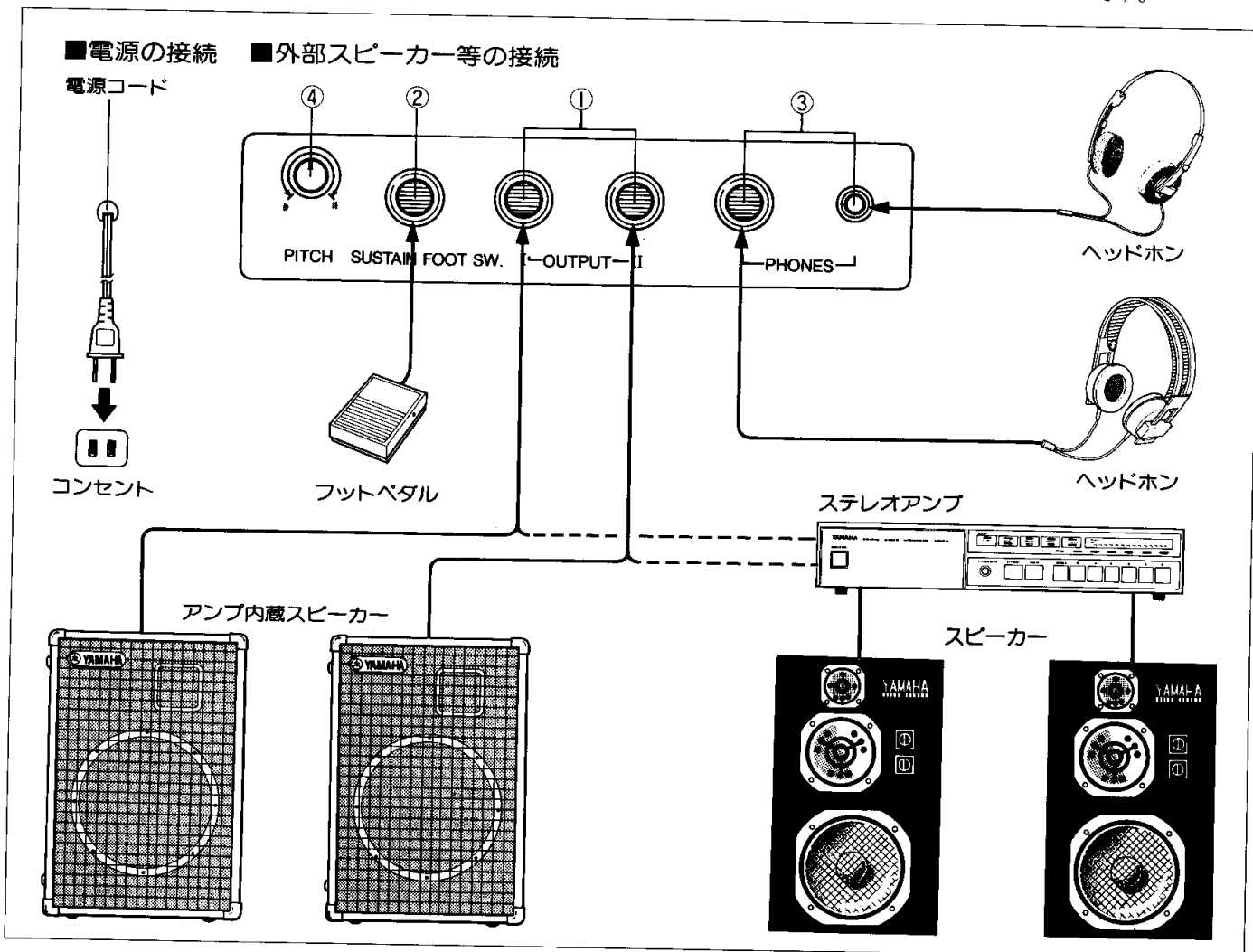
③PHONES (ヘッドホン端子, 標準およびミニ用)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンはキーボード用のモノラルタイプその他、ステレオ用のヘッドホンもご使用になれます。またミニプラグ付きのヘッドホンも接続することができます。

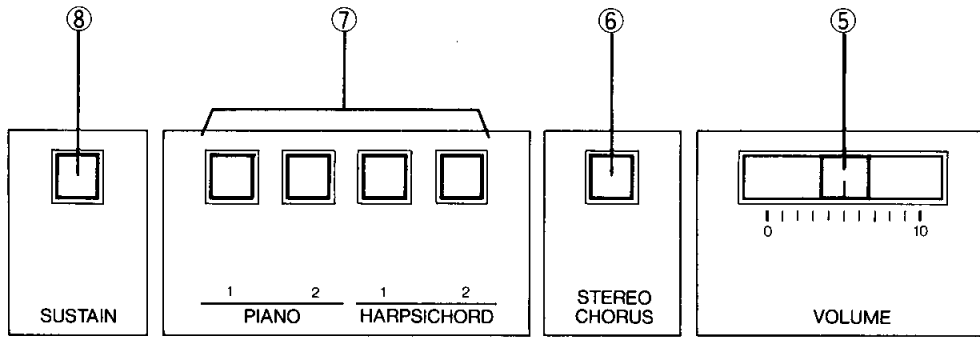
- ヘッドホンを接続しますと内蔵のスピーカーからは音が出なくなります。

④PITCH (ピッチコントロール)

#側に回しますと、音程が全体的に上がり、b側に回しますと下がります。他の楽器との合奏をする際などにお使いください。可変範囲は435~451Hzです。



接続と動作の確認が завершиましたら、実際に演奏しながら、基本的なコントロールを操作してみましょう。



⑤ VOLUME (ボリューム)

CP7の全音量を調整します。

- 外部アンプ、スピーカーを使用するときは、CP7のボリュームを“8”の位置ぐらいにしたときに、適切な音量が得られるようにアンプ側のボリュームをセッティングしますと、ノイズの少ない、きれいな音で演奏できます。

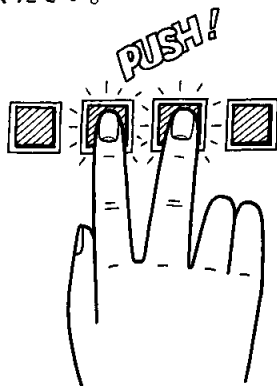
⑥ STEREO CHORUS (ステレオコーラス)

このスイッチをONにしますとステレオコーラス効果のついた演奏をすることができます。

⑦ 音色セクター

CP7の音色を決めるスイッチです。本機はPIANO 1, 2 HARPSICHORD 1, 2の4種類の基本の音を持っています。PIANO 1と2 およびHARPSICHORD 1と2では音色が違いますので、4種類の音をミキシングすると、いろいろなトーンの異なった音色をつくり出すことができます。

- 4つのスイッチがすべてOFFになっていますと鍵盤を弾いても音は出ません。
- 音色をミキシングする場合は、2つ以上のスイッチを同時に押してください。



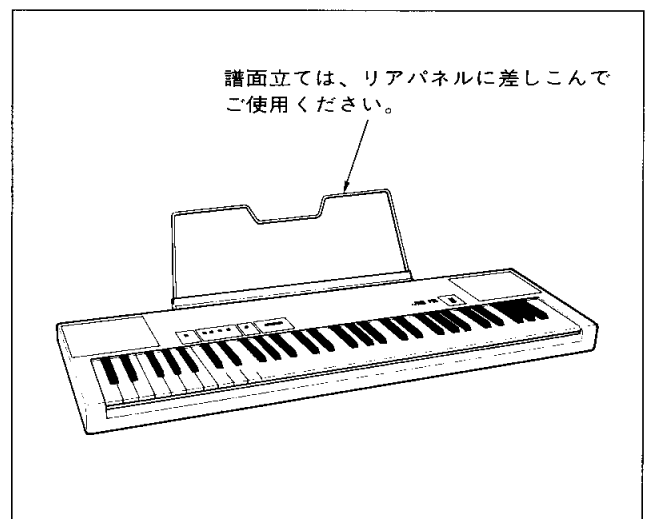
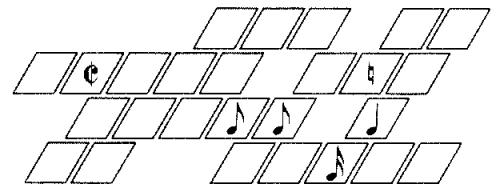
ミキシングする場合は、スイッチを同時に押してください。

⑧ SUSTAIN (サスティン)

このスイッチをONにしますと、アコースティックピアノのサスティンペダルと同じ効果が得られ、弾かれた音は、ゆるやかに減衰していきます。

また、このスイッチがOFFでは、弾かれた音は鍵盤から指を離すと同時に消えます。

- リアパネルにフットペダルを接続するときは、このスイッチを必ずONにしてください。
- フットペダルを接続しますとサスティン効果はフットペダルを押すことによって得られます。

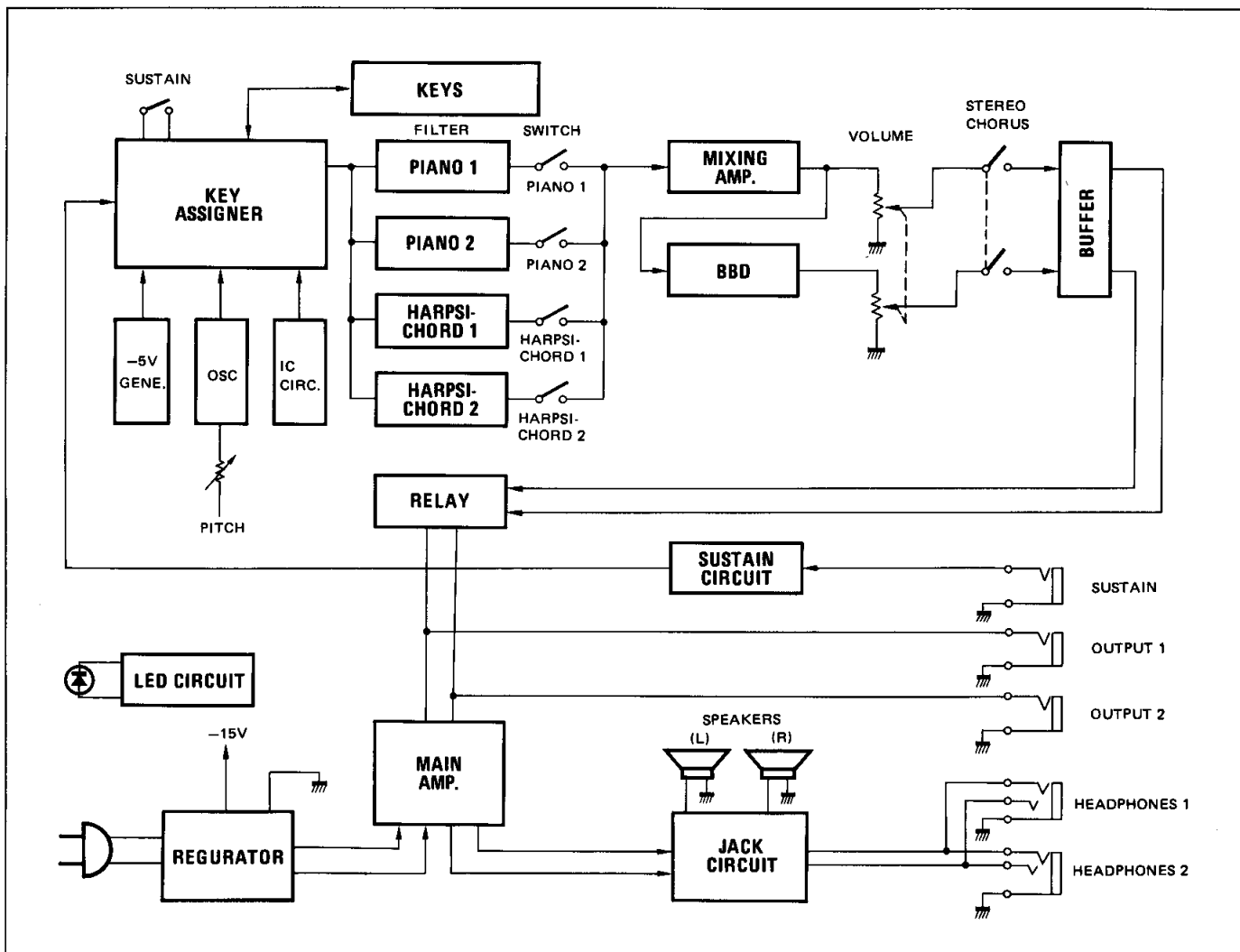


参考仕様／ブロックダイアグラム

鍵盤……………61鍵, C₁~C₆
 同時発音数……………8音先着優先
 ピッチコントロール…435Hz~451Hz
 サスティン……………ON/OFF (フットペダル不使用時)
 フットペダル……………サスティンON/OFF
 (サスティンスイッチON時)
 音色セレクター……………PIANO 1, PIANO 2
 HARPSICHORD 1, HARPSICHORD 2
 ステレオコーラス……………ON/OFF
 スピーカー……………10cm×2
 内蔵アンプ出力……………5W×2

リアパネル
 出力端子 I, II……………標準モノホンジャック
 600Ω, -20dBm
 ヘッドホン端子……………標準ステレオホンジャック×1
 ステレオミニジャック×1, 40Ω
 ペダル接続端子……………標準モノホンジャック
 電源電圧……………100V, 50/60Hz
 消費電力……………22W
 寸法 (W×H×D) ……902×80×301mm
 重量……………9 kg
 付属品……………フットペダル (FC-5), 譜面立て
 ダストカバー

■外観および仕様は改良等のため予告なく変更することがあります。



サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であつても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえ保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴する場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、右記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電音音響製品サービス拠点

お客様相談窓口

東京電音サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)
	TEL (03) 255-2241
東京ステレオサービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)
	TEL (03) 255-2241
東京電音サービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)
	TEL (03) 255-2241
横浜電音サービスステーション	〒231 横浜市中区本町6-61-1
	TEL (045) 212-2223
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーボールビルヤマハ新潟センター2F)
	TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒564 吹田市新富屋下1-16(千里丘センター内)
	TEL (06) 877-5262
大阪ステレオサービスステーション	〒550 大阪市西区江戸堀1-9-1(肥後橋センタービル6F)
	TEL (06) 445-6421
大阪電音サービスステーション	〒564 吹田市新富屋下1-16(千里丘センター内)
	TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F)
	TEL (0878) 33-2233
名古屋電音サービスセンター	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
	TEL (052) 231-2432
名古屋電音サービスステーション	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
	TEL (052) 231-2432
北陸電音サービスステーション	〒921 金沢市親本町7-7
	TEL (0762) 43-5341
浜松電音サービスステーション	〒432 浜松市東伊場2-14-1
	TEL (0534) 56-9211
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
	TEL (092) 472-2137
九州電音サービスステーション	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
	TEL (092) 472-2134
広島電音サービスステーション	〒731-01 広島市安芸南区紙屋町西原2205-3
	TEL (082) 874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
	TEL (011) 781-3621
北海道電音サービスステーション	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
	TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒980 仙台市大町2丁目2-10 (住友生命仙台青葉通りビル)
	TEL (0222) 22-6144
仙台電音サービスステーション	〒983 仙台市卸町5丁目7 (仙台卸商共同配送センター内)
	TEL (0222) 96-0249

お預り品修理拠点

東京電音サービスデポ	〒171 東京都練馬区高野台2-3-10
	TEL (03) 904-4901
大阪電音サービスデポ	〒564 吹田市新富屋下1-16(千里丘センター内)
	TEL (06) 877-5262
名古屋電音サービスデポ	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
	TEL (052) 231-2432
九州電音サービスデポ	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
	TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスデポ	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
	TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスデポ	〒983 仙台市卸町5丁目7 (仙台卸商共同配送センター内)
	TEL (0222) 96-0249

本社

営業技術部電音サービス課	〒430 浜松市中区中町10-1
	TEL (0534) 65-1111

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中区中町10-1
	TEL.0534(65)1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
	TEL.03(572)3111
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14
	TEL.03(572)3131
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内
	TEL.03(476)5441
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
	TEL.03(981)5271
池袋東ショップ	〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1 / プランズウィッツスポーツガーデン内
	TEL.03(983)9914
ヤマハ吉祥センター	〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル内
	TEL.0422(21)7182
横浜店	〒220 横浜市中区本町6-61-1
	TEL.045(314)8251
大阪支店	〒542 大阪府南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館(4F)
	TEL.06(251)1111
心斎橋店	〒542 大阪府南区心斎橋筋2-39
	TEL.06(211)8331
梅田店	〒530 大阪府北区梅田1-3-1/大阪駅前第1ビル内
	TEL.06(345)4731
神戸店	〒651 神戸市中央区元町通2-7-3
	TEL.078(321)1191
四国店	〒760 高松市丸亀町8-7
	TEL.0878(51)7777

名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28
	TEL.052(201)5141
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
	TEL.092(472)2151
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
	TEL.092(721)7621
小倉店	〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
	TEL.093(531)4331
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地 ヤマハセンター
	TEL.011(512)6113
札幌店	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目/ヤマハセンター
	TEL.011(512)6111
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10
	TEL.0222(22)6141
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5
	TEL.0222(27)8512
広島支店	〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル内
	TEL.082(221)4122
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
	TEL.082(248)4511
浜松支店	〒430 浜松市田町32/東京海上ビル内
	TEL.0534(54)4116
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町122
	TEL.0534(54)4111